

報道機関 各位

「平成22年度に係る業務の実績に関する評価結果についての学長コメント」

国立大学法人大分大学長

北野正剛

各国立大学法人が6月末に提出した「平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書」に対する評価を審議するための国立大学法人評価委員会総会が、10月27日（木）に開催されました。同委員会での審議・決定を受けて、同日文部科学省の国立大学法人評価委員会事務局から、本法人の評価結果について、別添資料のとおり通知がありましたのでご報告いたします。

本法人の評価結果については、「4つの項目別評価」のうち、3項目（「業務運営の改善及び効率化」、「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」、「その他業務運営に関する重要事項」）が5段階評価の上位から2段階目である「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」という良い評価を得ました。

残りの1項目（「財務内容の改善」）についても、実施すべき9事項のうち8事項の取組が「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」との評価を受けておりますが、ただ1点、光熱水量の対前年度比1%削減が達成できなかったことが総合的に勘案され、上位から3段階目の「中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる」との評価を得ました。光熱水量の削減については、既に多様な方策をとっているところですが、取組を検証し更なる削減に向け、全学的に取り組んでいきたいと考えています。

以上のとおり、第2期中期目標期間の初年度である平成22年度の実績に関する評価結果は、本法人にとって、ほぼ満足できる結果となりました。

今年度以降も、中期目標・中期計画の完全達成に向けて毎年度計画を着実に実施し、地域の「知の拠点大学」としての責務を果たせるよう、役職員一丸となって法人運営に取り組んで参りますので、県民の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。